

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2008年7～9月期)

第50回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成20年4～6月との比較）
  - （2）前年同期比（平成19年7～9月との比較）
  - （3）来期見通し（平成20年10～12月の見通し）
5. 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	151社
回答率	30.2%
(業種別)	
製造業	50社
建設業	32社
卸売業	16社
小売業	26社
サービス業	27社
合計	151社

## (2) 実施時期

平成20年7～9月期

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

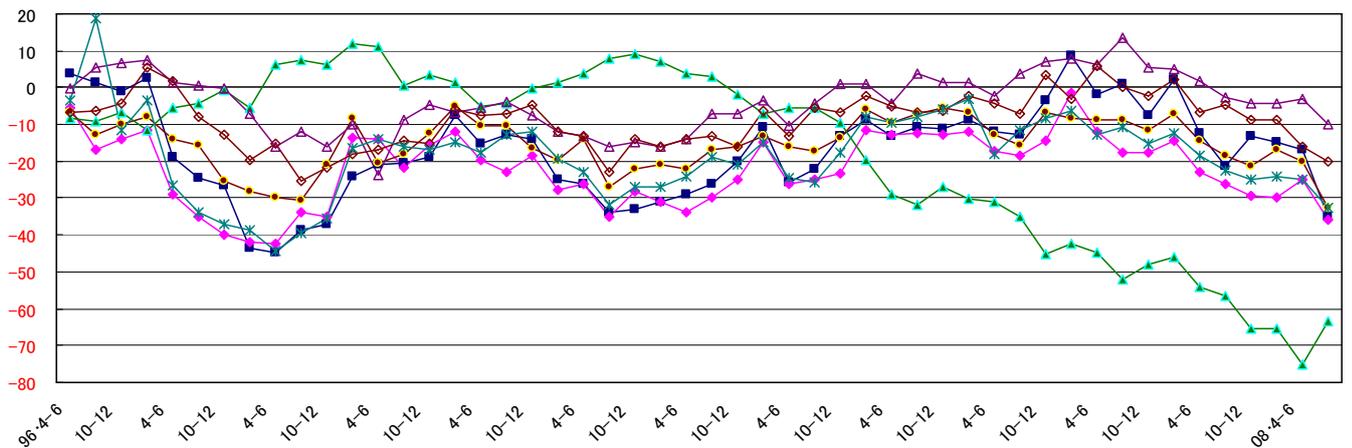
## 2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

- 売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)
- 採算D I = (好転 " ) - (悪化 " )
- 資金繰りD I = (好転 " ) - (悪化 " )
- 仕入価格D I = (下落 " ) - (上昇 " )
- 雇用状況D I = (不足 " ) - (過剰 " )
- 設備投資D I = (拡大 " ) - (減少 " )
- 業況D I = (好転 " ) - (悪化 " )



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	06/1-3	4-6	7-9	10-12	07/1-3	4-6	7-9	10-12	08/1-3	4-6	7-9
■売上	8.8	-1.9	1.0	-7.4	2.1	-12.4	-21.1	-13.1	-15.3	-17.4	-35.1
◆採算	-1.5	-12.1	-17.8	-17.5	-14.4	-23.0	-26.3	-29.2	-30.1	-24.5	-35.8
●資金繰り	-8.2	-8.9	-8.7	-11.6	-7.2	-14.6	-18.6	-21.4	-16.9	-20.0	-32.5
▲仕入価格	-42.3	-44.6	-51.9	-48.1	-45.9	-53.9	-56.7	-65.5	-66.1	-74.8	-63.6
△雇用状況	7.7	6.4	13.5	5.3	5.2	1.7	-2.6	-4.2	-3.8	-3.2	-9.9
◇設備投資	-3.1	5.7	0.0	-2.1	2.1	-6.7	-4.6	-8.9	-9.3	-15.5	-19.9
*業況	-6.2	-12.7	-10.6	-15.3	-12.4	-18.5	-22.7	-25.0	-24.0	-25.2	-32.5

### 3. 概況

#### 「需要低迷・仕入価格上昇で景況感は依然低迷」

##### (1) 今期の特徴

今期のD I 値は、前回調査より前年同期比で「売上」、「採算」、「資金繰り」、「雇用状況」、「設備投資」、「業況」が悪化となり、前期比では「採算」、「資金繰り」、「雇用状況」、「設備投資」の項目で悪化となった。「仕入価格」について、マイナス幅はやや改善しているものの、依然低水準で推移しており、回復基調とはいえない状況である。急激な円高による輸出関連の収益悪化、需要の低迷による買い控え、依然として続く原材料の高騰による仕入価格の上昇で、全業種において経営環境は厳しい状況となっている。

##### (2) 来期の見通し

来期の見通しは、「売上」、「資金繰り」「雇用状況」、「設備投資」、「業況」でマイナス幅が拡大し、依然厳しい数値となっている。

業種別では、製造業では輸出の減少による受注額・件数の減少、建設業では受注競争の激化による工事量の減少と材料費の上昇、卸・小売業では年末需要期を迎えるものの消費の低迷が懸念され、サービス業では売上・採算・業況でマイナス幅が縮小し年末需要に期待が持たれるが消費マインドの低下が不安視される。

##### (3) 経営上の問題点

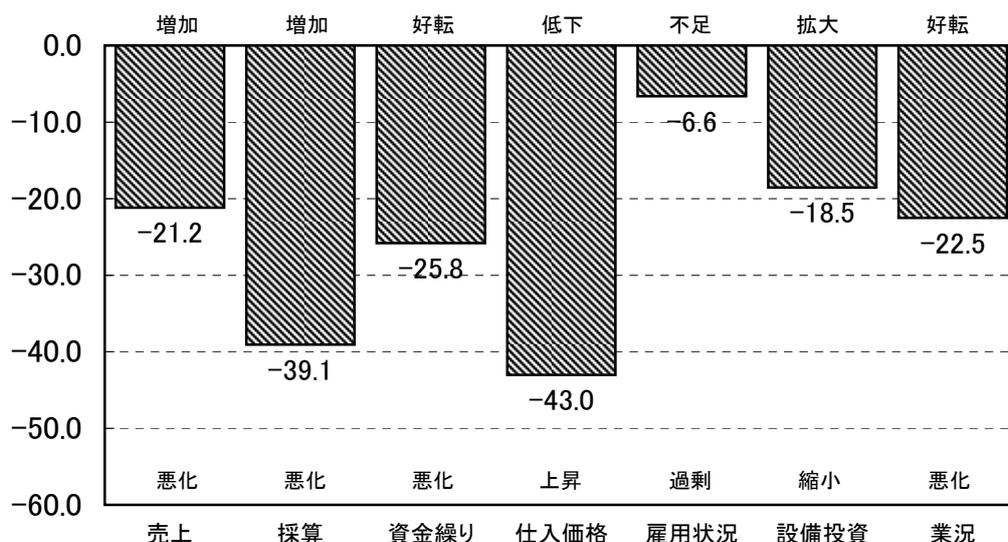
今回の上位順位は、前回1位と2位が入れ替わり、1位に「需要の停滞」、2位に「原材料（仕入単価）価格の上昇」、3位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」と続いた。

##### (4) 今後の対応策

今回の上位順位は、前回1位と2位が入れ替わり、1位に「その他の合理化を実施したい」、2位に「新規市場を開拓したい」となり、新たに「人件費を削減したい」が3位と続いた。

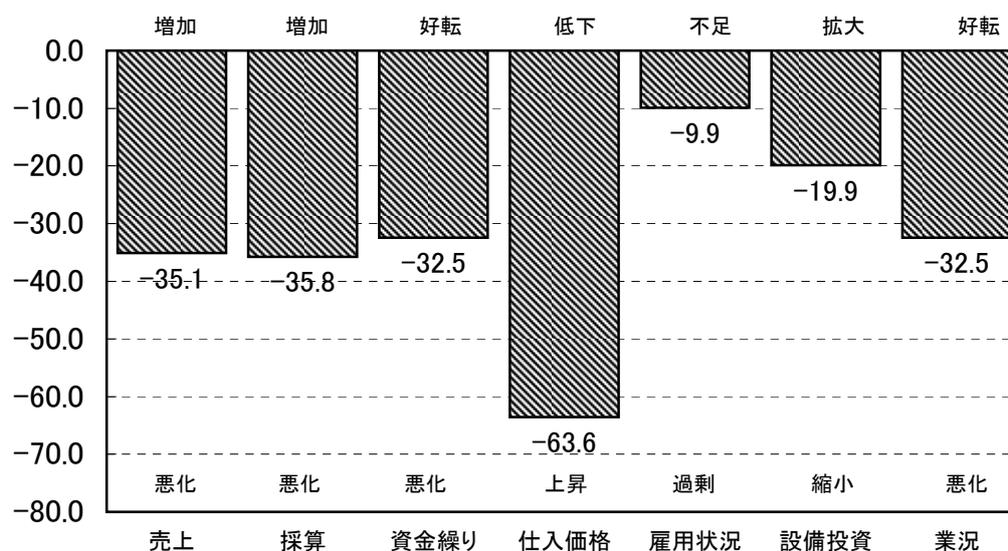
## 4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成20年4～6月比)



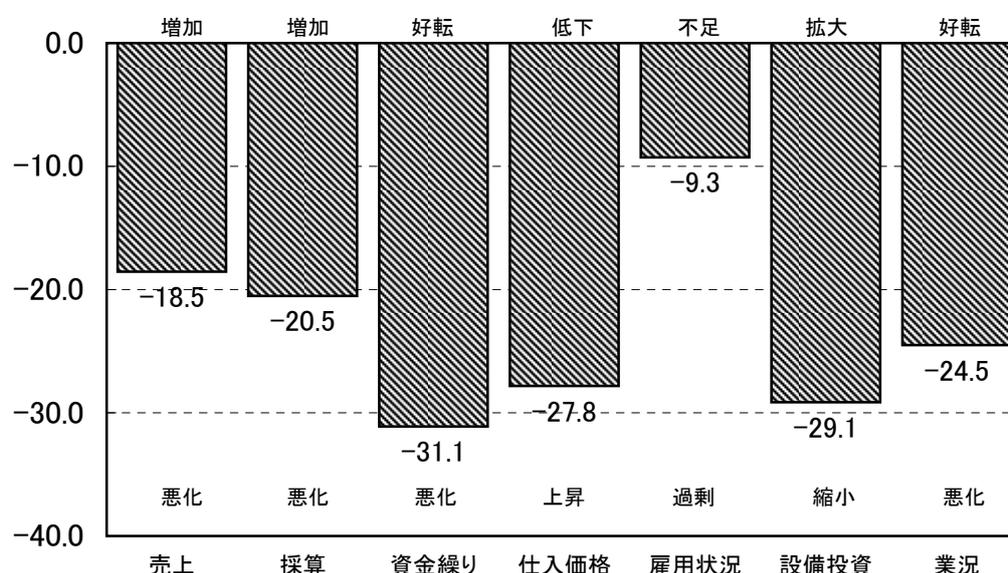
前期比D Iは、前回調査と比較して、ほぼ横ばいで推移しており、原材料の高騰、消費マインドの低迷など悪材料を拭えず、依然厳しい状況である。特に製造業では、急激な円高により輸出関連の利益を逼迫している。

前年同期比(平成19年7～9月比)



前年同期比D Iは、売上・採算・業況共にマイナス幅が拡大した。原油高に伴う仕入価格は依然上昇しており、全業種で利益を圧迫している。更に需要の低迷で売上也伸び悩み、業況は悪化の様相みせている。

来期見通し(平成20年10～12月見通し)

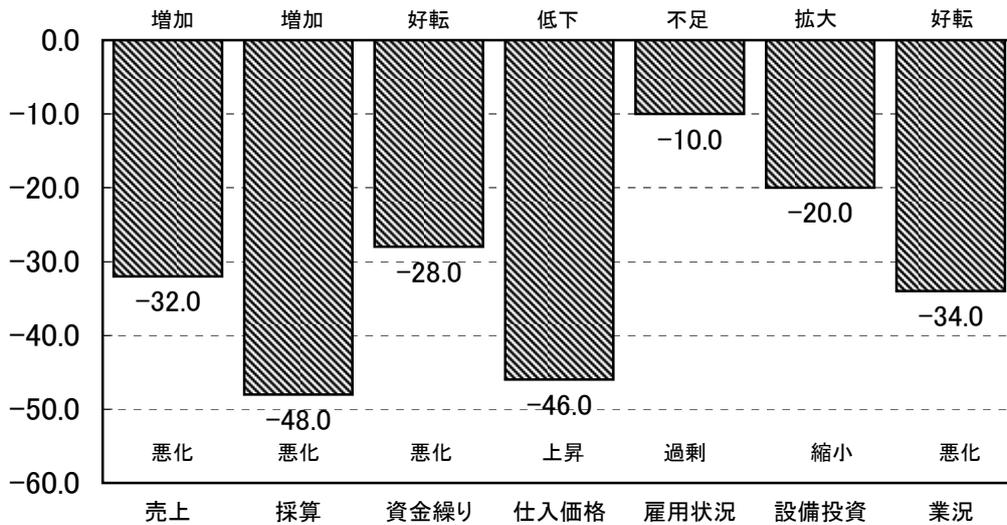


来期見通しD Iは、前回調査と比較して、仕入価格はマイナス幅が縮小されたが、売上・採算・業況はマイナス幅は横ばいとなっている。年末需要に期待の音が聞かれるものの、依然として需要の低迷が払拭出来ず先行きは厳しい見通しである。

## 5. 業種別の景気動向

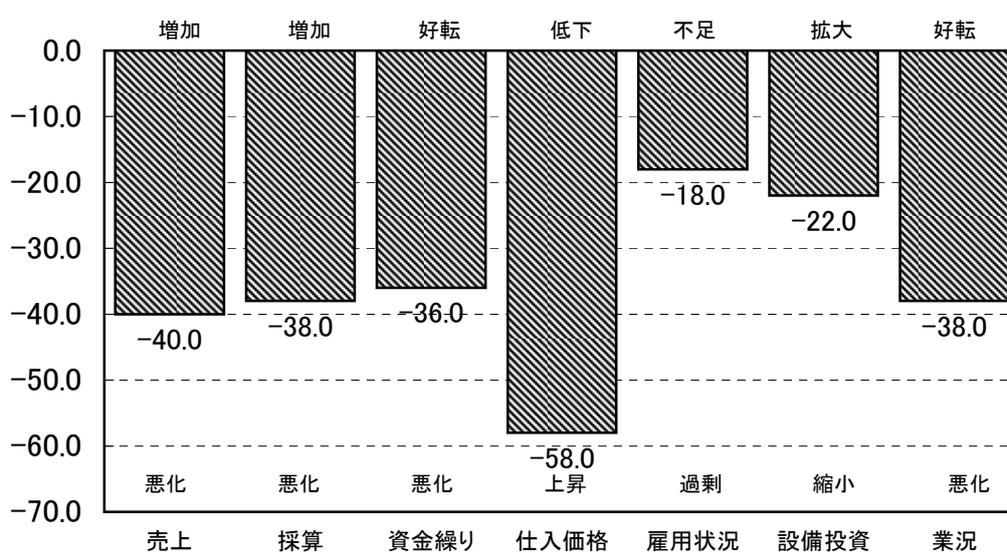
### (1) 製造業

前期比(平成20年4～6月比)



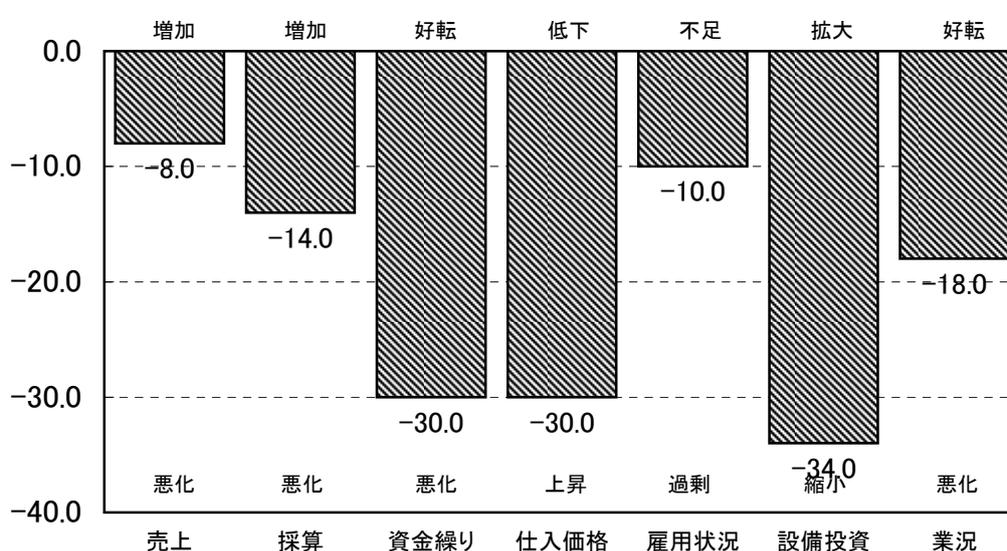
前期比D Iは、前回調査と比較して、売上・採算・業況共にマイナス幅が拡大した。公共工事の入札制度改革等に伴う受注の減少や依然として続く原材料の高騰、更には急激な円高による逆ザヤ現象で利益を圧迫しており益々厳しい経営環境となっている。

前年同期比(平成19年7～9月比)



前年同期比D Iは、前回調査と比較してマイナス幅が大幅に拡大した。世界的な経済悪化と円高に伴い輸出関連製品の需要と生産量の激減、更には原材料の高騰により利益の確保が難しく業況は厳しい状況となっている。

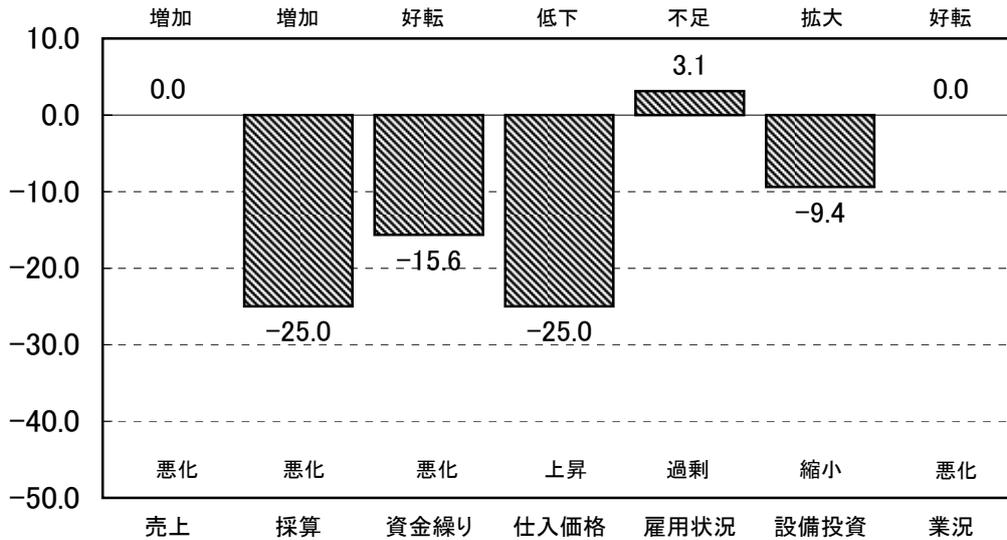
来期見通し(平成20年10～12月見通し)



来期見通しD Iは、前回調査と比較すると売上・業況D Iはマイナスに転じた。一部で需要期を迎え期待が持たれる（アルミ製品製造）が、受注額・件数の減少、原材料価格の改善は見込めず先行きは全く見えない状況のようである。

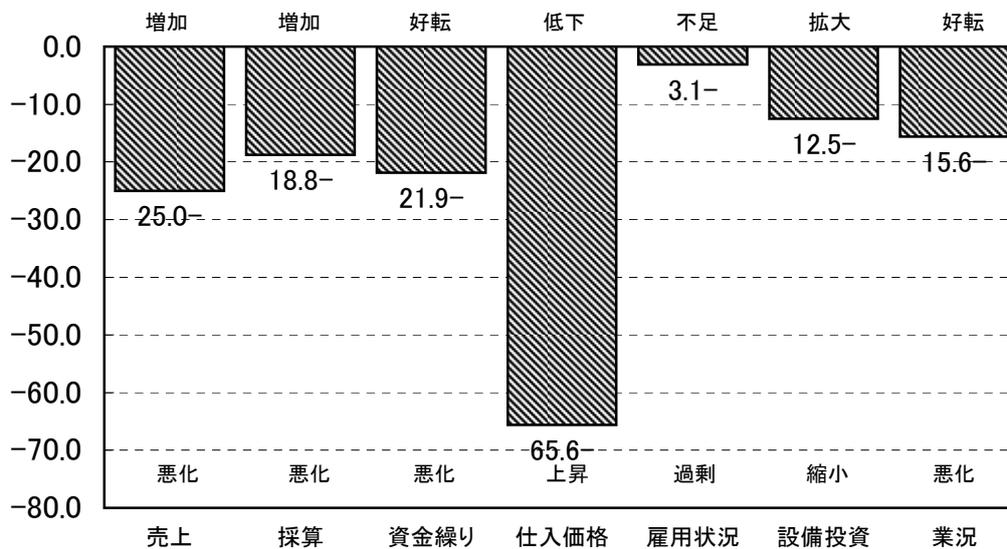
## (2) 建設業

### 前期比(平成20年4～6月比)



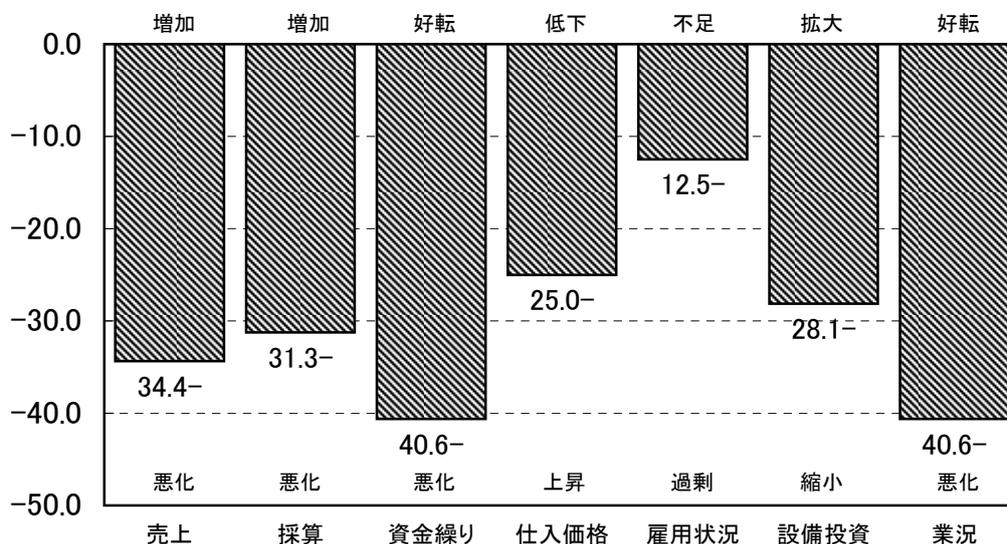
前期比D Iは、前回調査と比較して公共工事の発注時期という季節的要因もありやや改善されたが、依然として続く仕入材料、燃料の高騰と受注競争に伴う受注競争の激化による薄利受注で採算面は厳しい状況のようである。

### 前年同期比(平成19年7～9月比)



前年同期比D Iは、前回調査と比較して売上・採算・利益共に悪化となった。原材料の高騰に伴う仕入価格の上昇で、経費負担が大きく、更には公共工事の入札制度の変革や民間工事の受注競争激化等の影響で、厳しい経営環境となっている模様である。

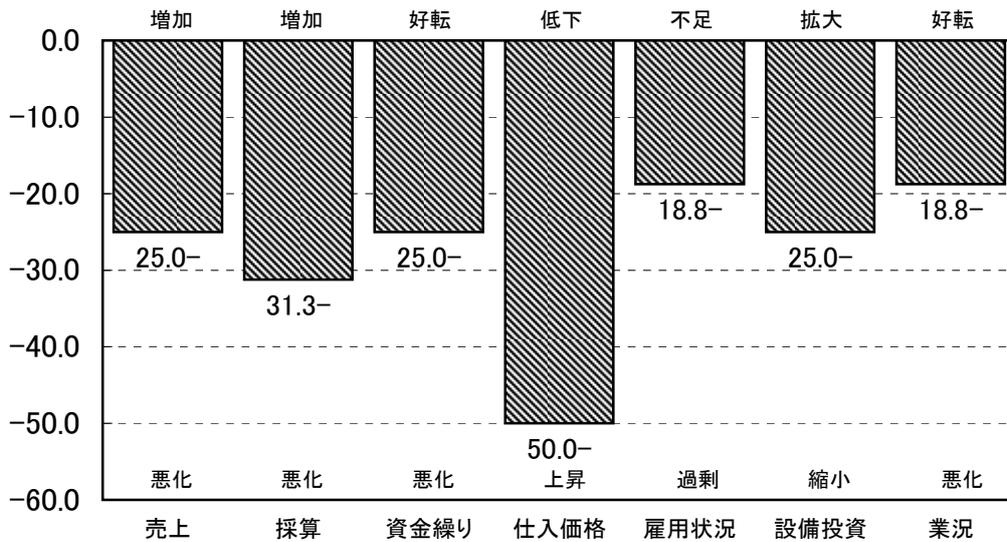
### 来期見通し(平成20年10～12月見通し)



来期見通しは、仕入価格D Iで、やや改善されたものの、前回調査とほぼ横ばいの状況となっている。燃料の下落は好材料となっているが、仕入価格までの転嫁は不透明である。また、設備投資の縮小等による工事量の減少が懸念される。

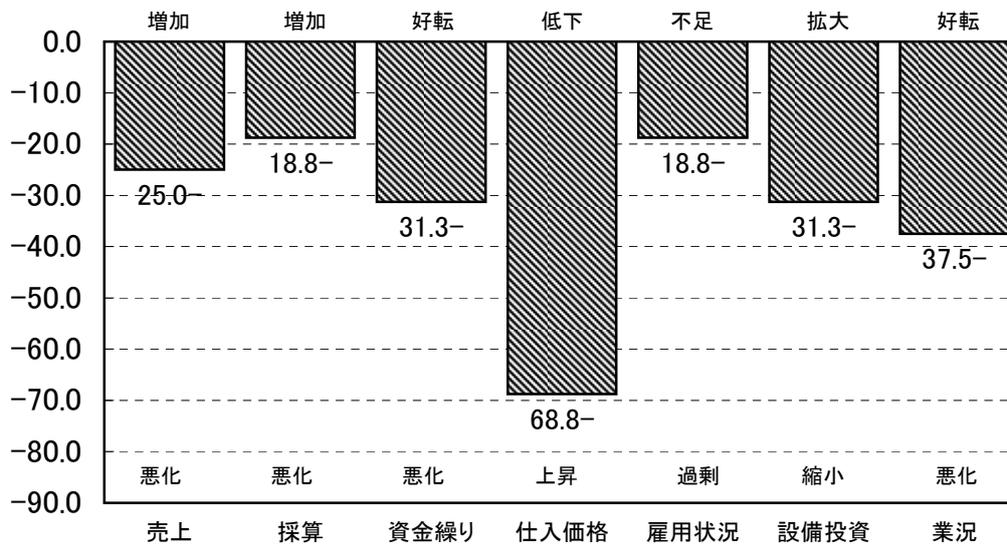
### (3) 卸売業

前期比(平成20年4～6月比)



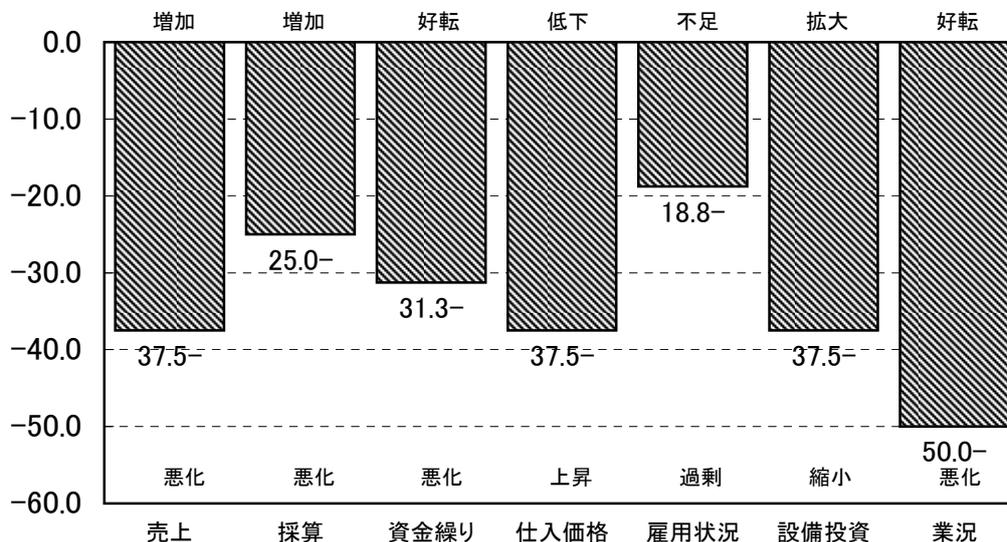
前期比D Iは、前回調査と比較して、仕入価格はマイナス幅を縮小したものの、売上・採算・業況は、悪化している。飲料関連の一部では、季節的需要で好調であったものの、仕入価格の上昇に伴う利益圧迫の声は多く業況は厳しい状況とみられる。

前年同期比(平成19年7～9月比)



前年同期比D Iは、前回調査と比較して、ややマイナス幅が改善された。しかしながら「材料価格は上昇しているが市況価格は低迷したまま」(機械工具)、「経常利益が出ず損失になる」(青果)等の声も聞かれ厳しい経営環境は続いている。

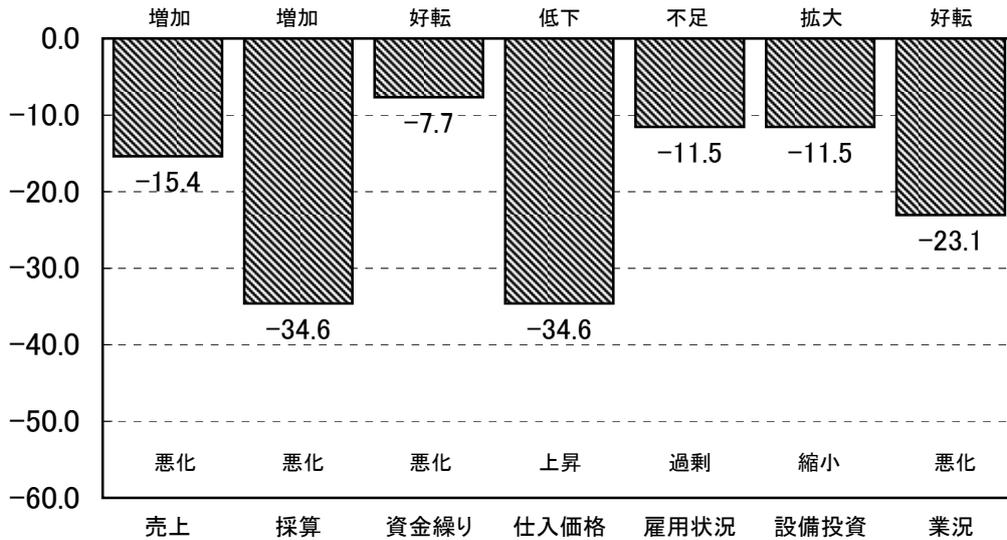
来期見通し(平成20年10～12月見通し)



来期見通しD Iは、依然としてマイナスで推移している。「顧客の買い渋り」(建設資材)、「忘年会等の減少、歳暮期のギフト売上減」(食品)など、仕入価格の高止まり、消費の低迷等が懸念され見通しは不透明である。

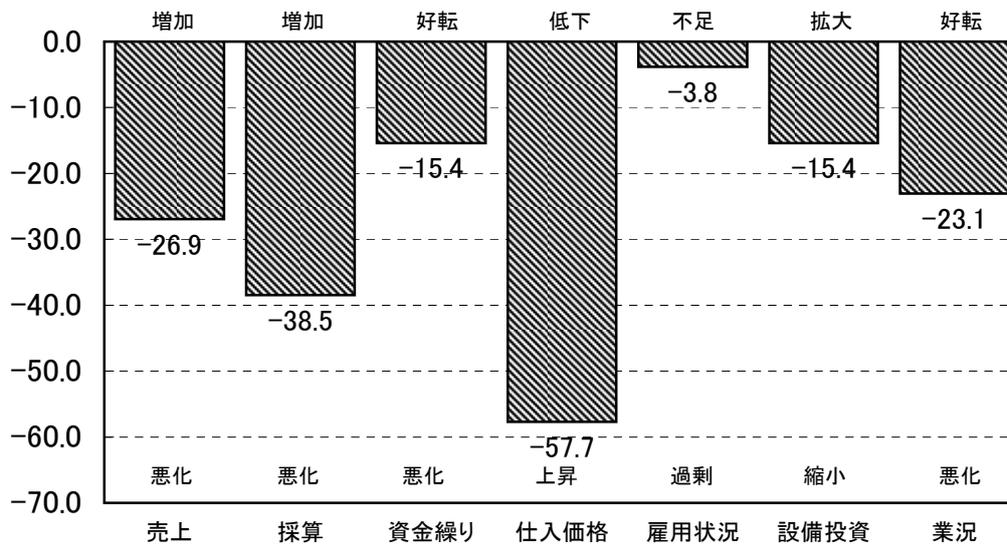
## (4) 小売業

前期比(平成20年4～6月比)



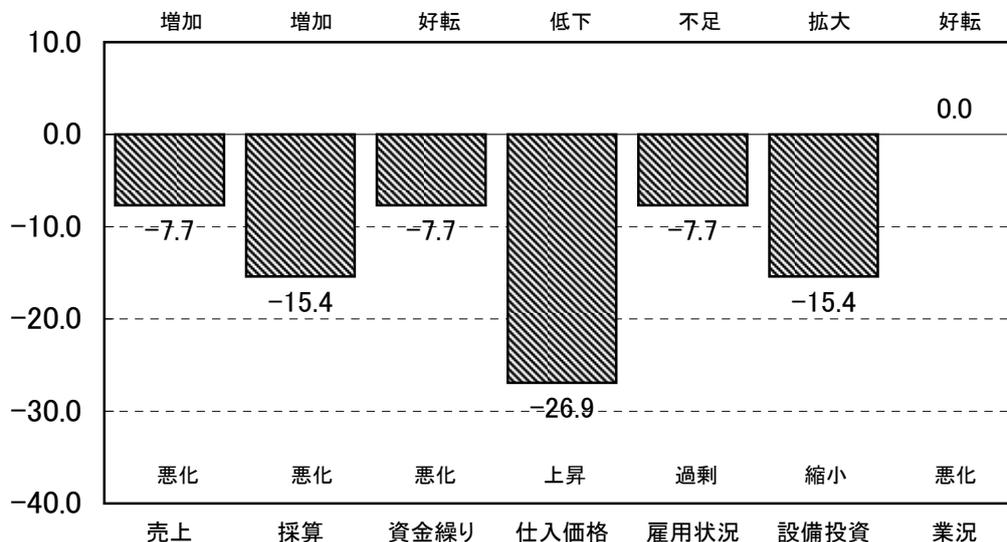
前期比DIは、前回調査と比較して採算・業況で悪化した。売上・仕入価格DIは、マイナス幅を縮小したものの、消費の低迷による買い控えによる影響が大きく、業況は厳しい状況である。

前年同期比(平成19年7～9月比)



前年同期比DIは、売上・採算でマイナス幅が拡大した。仕入価格は依然として上昇しており、消費マインドの低下も相成って、利益の確保が困難な状況となっている。

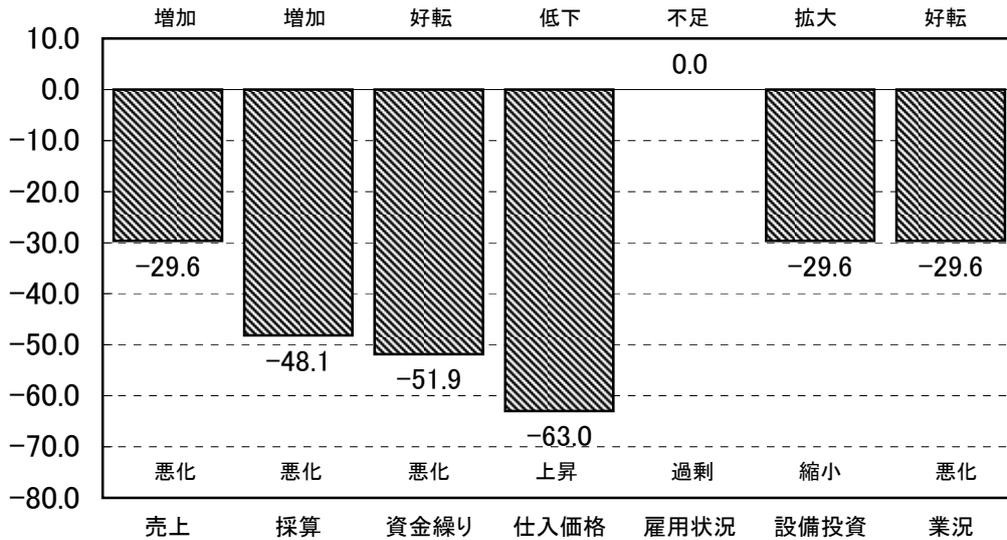
来期見通し(平成20年10～12月見通し)



来期見通しDIは、前回調査と比較して資金繰り・設備投資がマイナスとなったものの、売上・採算はマイナス幅が改善し、業況はDI値がゼロとなった。季節的要因に加え、仕入価格の下落が期待されるものの、価格競争の激化が懸念される。

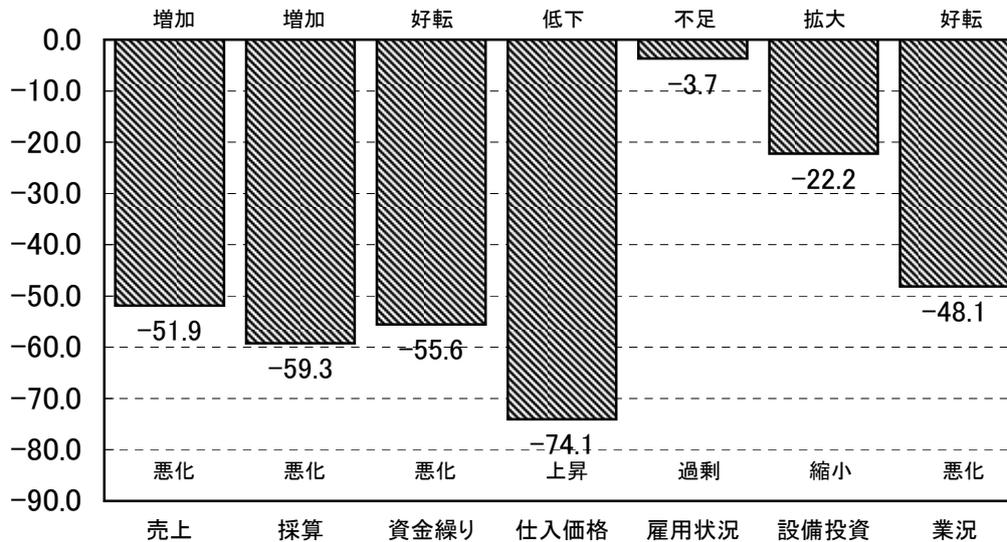
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成20年4～6月比)



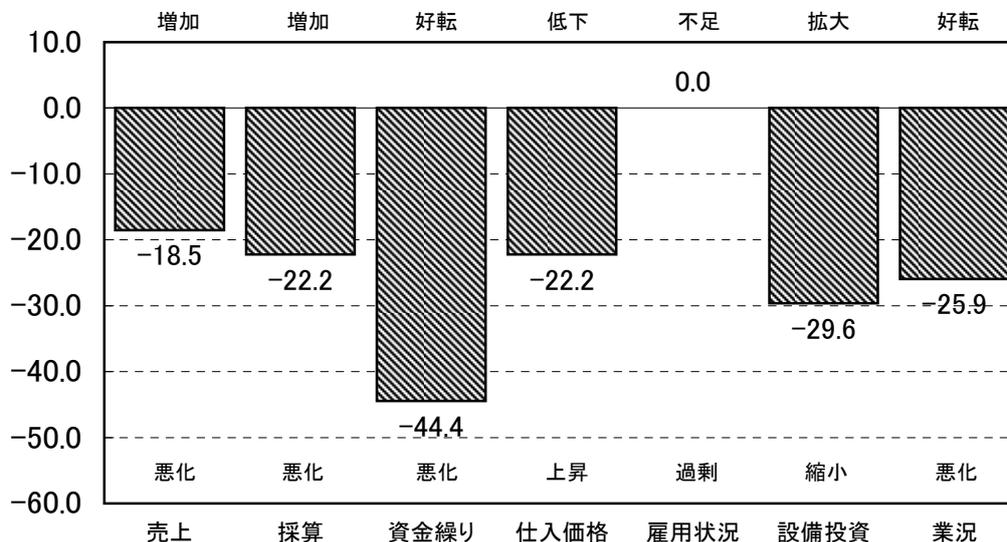
前期比D Iは、前回調査と比較して、採算・資金繰りのマイナス幅が悪化した。「原材料の高騰」(運送業)、「仕入れ、光熱費の高騰」(レストラン)、客単価の減少(ブライダル)など利益を圧迫する声が多く、経営環境は厳しい状況である。

前年同期比(平成19年7～9月比)



前年同期比D Iは、前回調査と比較して売上・採算・業況共にマイナス幅が拡大した。「ガソリン高騰による車での旅行控えにより宿泊客が減少」(ホテル)、「価格転嫁がうまく出来ない」(運送業)など、経費負担の増加と消費マインドの低下で業況は厳しい模様。

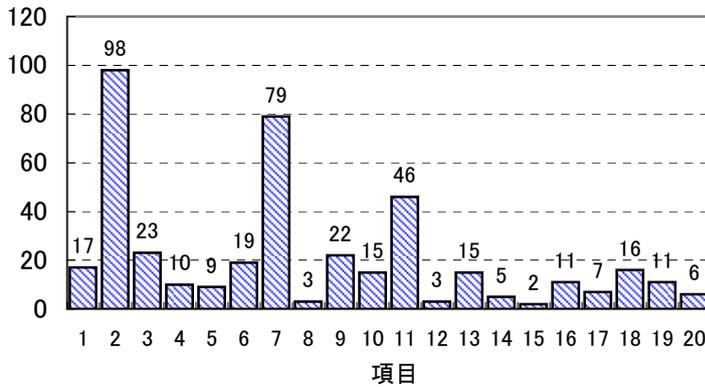
来期見通し(平成20年10～12月見通し)



来期見通しD Iは、前回調査と比較して、資金繰り・設備投資以外でマイナス幅が縮小した。年末需要に期待する声があるものの、消費マインドの低迷が懸念され先行きは不透明である。

## 6. 経営上の問題点

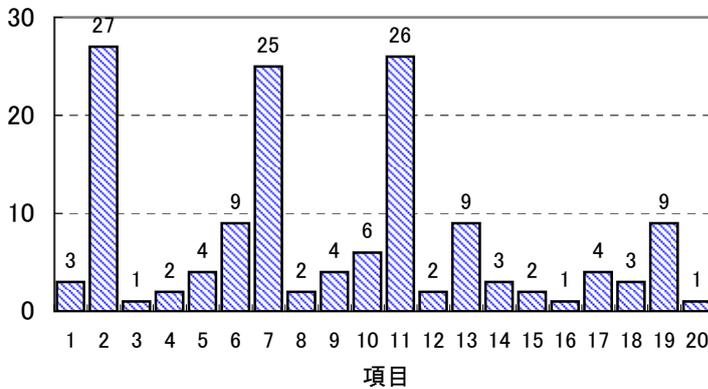
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 原材料・人件費以外の経費の増加

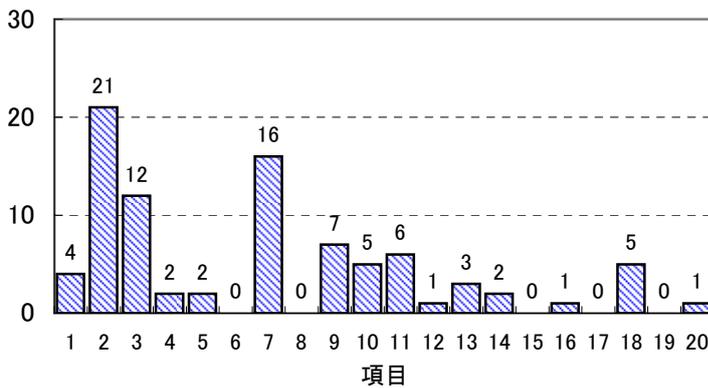
製造業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

建設業



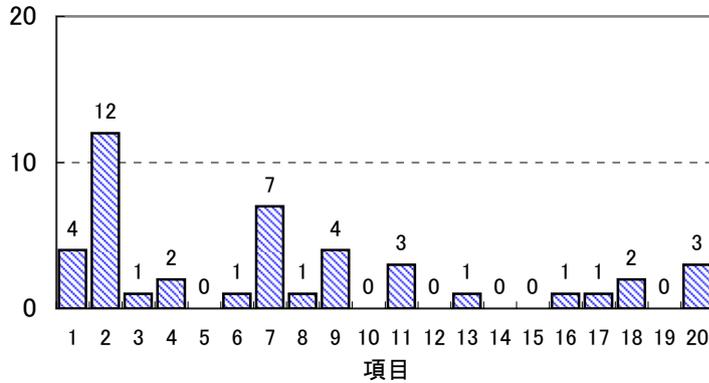
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

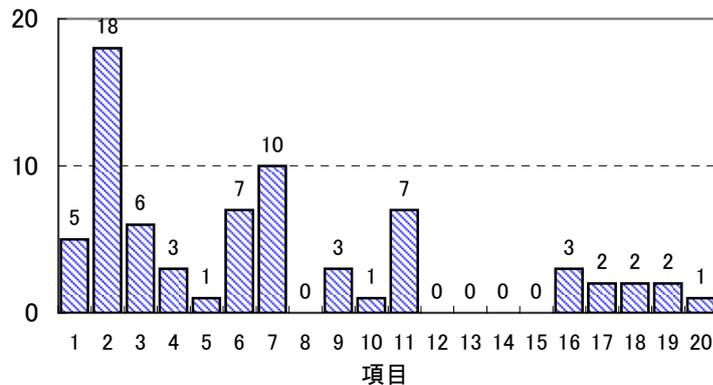
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

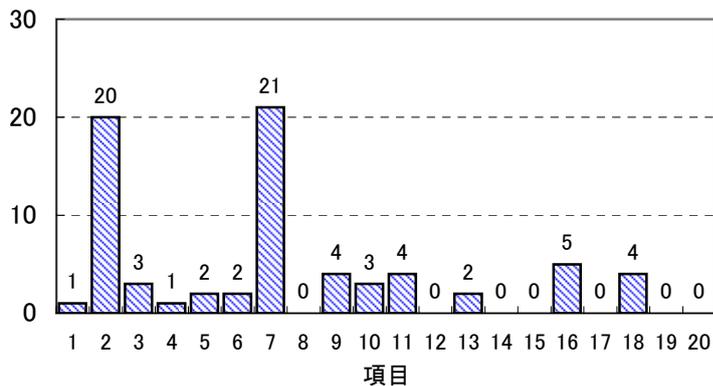
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品ニーズの変化
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

### サービス業



#### 順位

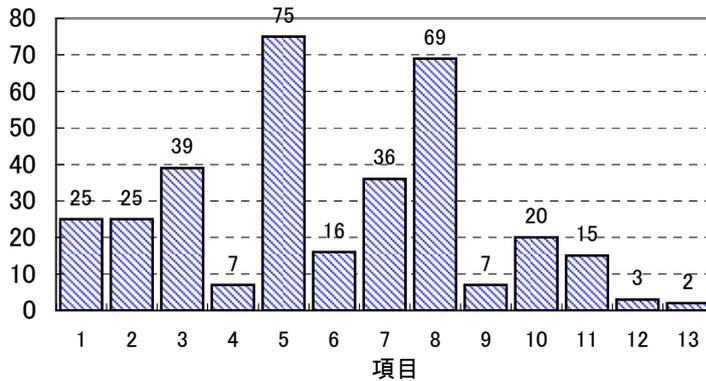
- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 需要の停滞
- 3位 事業資金の借入難
- 4位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

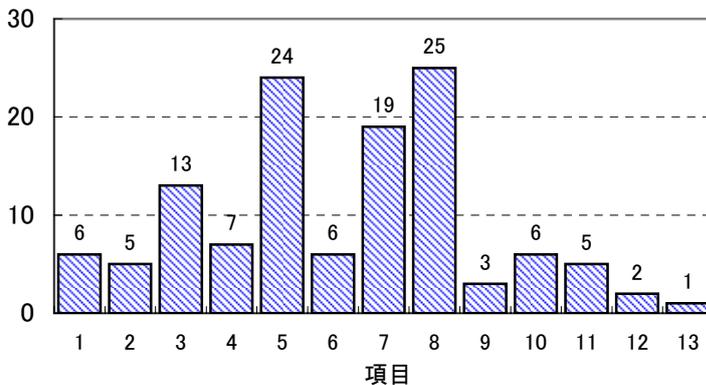
全業種



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

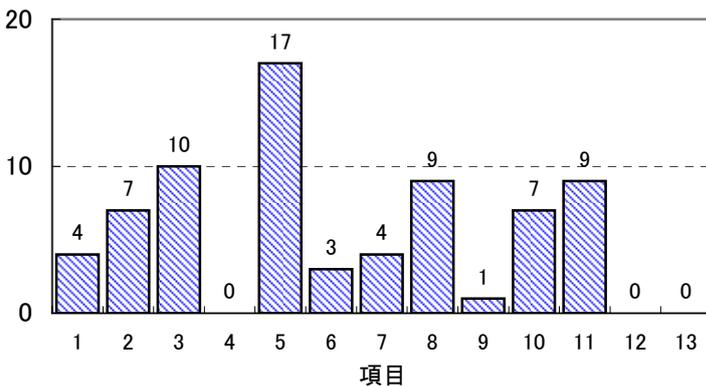
製造業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 生産調整を行わないたい

建設業



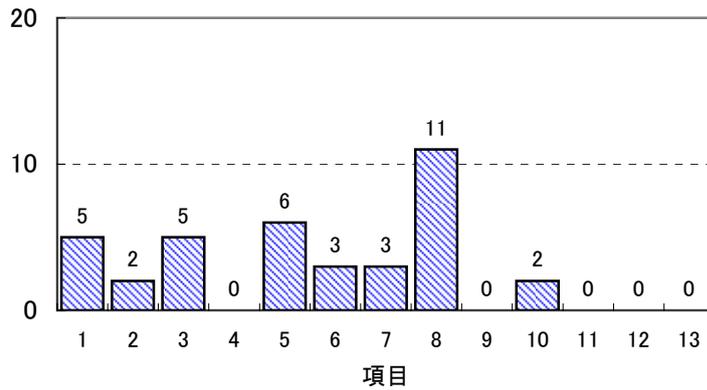
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 下請け発注を減らしたい
- 5位 雇用調整を行いたい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             |                      |

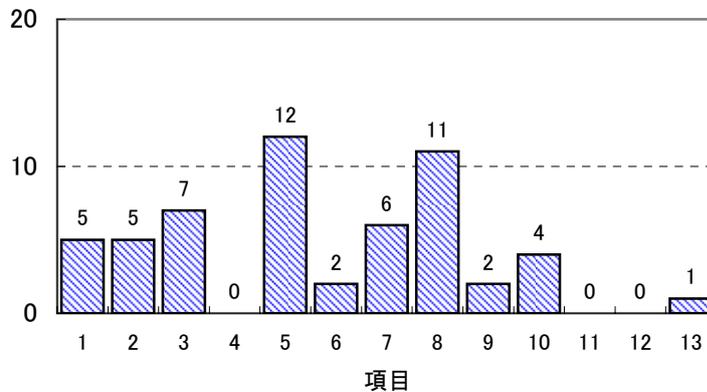
## 卸売業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規採用を見合わせたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 設備投資を縮小したい

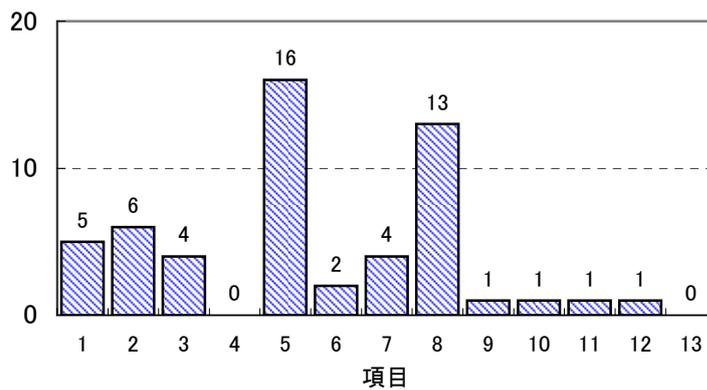
## 小売業



### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

## サービス業



### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 雇用調整を行いたい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 人件費を削減したい

## 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	アルミ製品製造業	都城	行政に期待したらだめが実感です。
製造業	印刷	都城	日本中に「異常」蔓延しているのに、それが「普通」になろうとしている。特に政治家の皆さんしっかりして下さい。
製造業	鋳造及び機械加工	都城	企業誘致で大企業を集めるのも必要と思うが、地元企業の育成策を強化して欲しい。地元で協力できる企業が多くなると、大手企業も来ないのでは。それと、地元企業を使う企業でないと、できれば雇用と仕事を出す企業を誘致せいで欲しい。
製造業	機械器具製造業	都城	原油高は徐々に値下がりにありますが、材料は基より会社の自動車を使うガソリン代は大きな支出。ガソリン税を下げる事こそ、企業のため、家族の為になるのでは
製造業	印刷業	都城	早く景気回復を望みたい
製造業	自動車用モータ製造	宮崎	特にありません
製造業	IC製造業	宮崎	米国の不況の影響を受け、日本国内の民間企業はかなり厳しい状況となっており、国・県は税率の見直しをすべきです。
製造業	輸送機器製造業	宮崎	高速道路を整備し、ロジスティクス強化も図っていただきたい
製造業	金属製品製造業	宮崎	早急に景気対策、特に資金繰り対策を実施してもらいたい
製造業	自動車専用部品製造	日南	10月から極端に受注が減った。客先からは見通しがたないとの情報、来年2月までは-20~30%進みそうです。何とかしてほしいその一言です。6013
製造業	金属加工業	日南	もう少し現場を見てほしい制度を作ることも大切ですが、本当の姿をしっかり認識して対策を立ててほしいです。
製造業	製材、集成材	日南	平成19年6月に建築基準法の改正した診査手順(検査の方法)を見直し早急に診査をし、2ヶ月以内には決定を下す方法(診査人数を増やす)とかスムーズな運びをすることをなすべきである。そのために住宅着工の減少がある。6042
建設業	建築工事業	都城	県内から県外へ流出している人材を地元に戻すための施策を考えて欲しい
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	建設業に活気を与えるような景気対策をのぞむ。好況に向うも、不況に向うも建設業からはじまると考えます。
建設業	電気工事	宮崎	入札制度の改革をもう少し見直して頂きたいと思います
建設業	土木建築とび土工	宮崎	麻生さんの言動で経済がゆれている様な気がする。県内の建設業者の財務も厳しくなっている様である。短期資金は(工事引当)は貸出しているようだが、長期資金の貸出しは皆無の様です。おもいきって短期資金を長期にかえてみるのも良いのではないのでしょうか？道路特定財源の内、1兆円を自主に使える資金として地方に回すとの話があるが、建設業を営む者としてはインフラ整備に充てて欲しい。森林整備について国は支援をする為の法律を公布している。これが何かに使えないものであろうか？と思っています。森林組合を通すのではなく、県協会・県事業協同組合が窓口になる。という方法で!!
建設業	建設業	宮崎	建設業の現状を見てもらい、制度の見直しを行って欲しい。
建設業	電気工事	宮崎	期待しておりません
建設業	電気設備工事	宮崎	県内高速道路の早期整備
建設業	電気工事防災工事	宮崎	大手企業からの地元下請発注額の低さや、支払条件(手形、ファクタリング)が悪いことにより資金調整が厳しい。又、労働が派遣社員という実態にならないような国策が欲しい。
建設業	家具製造 内装工事	宮崎	橋通り2車線化が今試験的に行なわれておりますが、公金を使い今すべき事業なのですか。労働者の賃金も押えられ雇用もままならない時に公園化して女、子供、老人が集い商品の購買意欲が高まり商店街が活気づくのですか。労働者の勤労意欲をふるいたたせる設備投資が先だと思えます。

建設業	建築工事業	宮崎	県内建設業の倒産は依然として増加淘汰が進んでいる。県では新分野進出に対する助成や指導を行っているが、入札制度改革により淘汰された結果のやむを得ない職業転換でなく業界を支援育成できる入札制度によって職業転換が促進される改革が求められる。
建設業	電気工事	宮崎	工事価格の最低ラインの引き上げ。見積の設計資料の内訳数量を参考値でも(電線・ケーブル・電線管等々)、公開して貰えないか。省力化・エコ対策も含めて!
建設業	鉄骨建築業	高鍋	原油、鉱石の安定輸入
建設業	電気工事業	高鍋	電子入札の導入により公共工事が減少している上、地方の中小企業が受注する条件が悪化。総合評価方式や条件付等、ますます小企業及び実績の無い企業が受注しにくい方向に変わった。大企業だけ残し、中小企業は倒産すれば良いという方式ですか。地方、中小企業はどうすれば。
建設業	土木工事一式	串間	国県の公共事業投資の減少により建設業者はもとより、下請け業者・建設関連業者は見殺しの状態となっている。早急な中小企業又は零細企業への救援対策が望まれる。
卸売業	建築・木工・金物	都城	企業経営はよくも悪くも経営者次第とおもっています99%今後もがんばって生きたいとおもっています
卸売業	建設資材販売施工	延岡	景気対策
卸売業	建築資材販売	日向	世界的な景気です。どうすることも出来ません。新内閣(麻生首相)が内需拡大する期待するしかありません。4120
卸売業	焼酎製造業	小林	酒税、消費税の軽減
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	雇用対策を行ってほしい。景気対策は簡単には出来ませんが、県をあげての新産業での雇用を作っていくこと。新産業とは～①太陽光発電～全世帯に ②更なる新産業の誘致～清武に1万坪の土地有り
小売業	自動車小売及び修理	宮崎	国内消費の拡大
小売業	総合小売業	宮崎	景気対策、経済対策を望む。大幅減税を実施小さな政府による公共事業拡大を実現し、国内需要を活性化し、国民生活の安定化を望みます。
小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	売上低下は予想も出来なかった。国全体もちろん宮崎県内の倒産が12月～1月にかけて増加するだろう。橋通の活性化はいくらお金をつぎ込んでも昔の繁栄はとりもどせない。商店街の空店舗はふえるばかり、各店の努力も力つきるだろう。
小売業	一般食品小売業	宮崎	特になし
小売業	自動車等の販売と整備	宮崎	公共事業の拡大、早期経済の安定
小売業	総合食料品スーパー	日向	地元の中小企業の存続のためには、行政が積極的に地元企業優先をはかってゆくべきである。農業の地産地消と同じく商工業(建設も)の地産地消すべきである。地区外の大企業の出先のみ町の町になったら、町は疲弊する。4005
小売業	ガソリンスタンド	日南	金融機関を国は早く救済し、地方の中小企業に対しての融資を積極的に取組んでもらいたい。銀行が負っている負債は大変大きいものがあるのでそれ以上に公的資金を投入してもらいたい。6050
小売業	百貨店	日南	地産地消(食物だけでなく全てに渡り)建設など入札の公平は解るが、地元優先。市のマスタープランに乗った将来に繋がる投資として大きい
サービス業	ホテル業	都城	ホテル・旅館等の設備産業に対する長期低金利融資制度をお願いします。
サービス業	運送業	都城	原油値上がりの抑制をお願いしたい高速道路通行料値下げをお願いしたい軽油税の値下げをお願いしたい
サービス業	一般旅客自動車運事業	宮崎	大幅減税等を行い個人消費回復の対策を行なって欲しい
サービス業	総合不動産業	宮崎	不動産不況の中にあり自社のカラー作りをして将来にそなえたい。

サービス業 不動産売買・管理	宮崎	国民に一人あたり数万円とかを還付する施策は政策に行き詰まった政府の愚策そのものである。先を見る政治家が欲しい。実行力庶民派の政治家が欲しい。
サービス業 美容婚礼業	宮崎	来年以降が全く見えない行政の(国の)不信感の増大
サービス業 飲食業	日向	「自分の身は自分で守る！」をスローガンに全員(全従業員)で取り組んでいける体制をつくる。大家族的な雰囲気をつくりお客様に喜んでもらえる店づくりを常に考えていくことしか、生き残りは無いと思っています。4052
サービス業 クリーニング業	高鍋	少しは落ち着いたものの原材料の値上げは厳しい。漁業等は国からの援助があるが他の業種にはそれもない。当方の業種も石油製品の値上げにより仕入れるもの全てが値上がりした。他の業種の現状を調べ対策を講じて欲しい。
サービス業 レストラン	高鍋	景気対策をしっかりとやって、地方経済の底上げをしてもらいたい。定額減税、交付金よりも、もっとより効果の大きい改革にとりこんでほしい。公務員があまりにも厚遇されている現状では多数の国民が怒っていることを忘れず、政治家はしっかりとしろといいたい。
サービス業 ホテル	日南	東国原知事による本県観光への追い風があるうちに日南市として県外観光客及び社会人大学等のスポーツキャンプの誘致に力を入れていただきたい。 6024